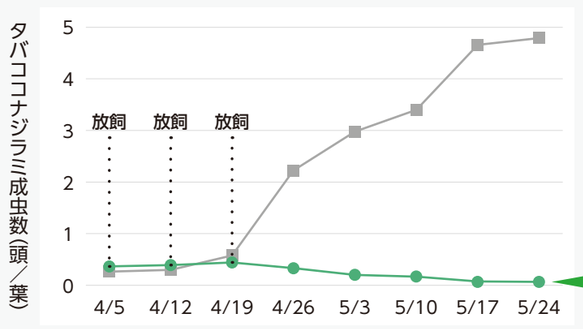
バコトップのコナジラミ類、アザミウマ類に対する防除効果

●なすでのタバココナジラミに対するバコトップの防除効果

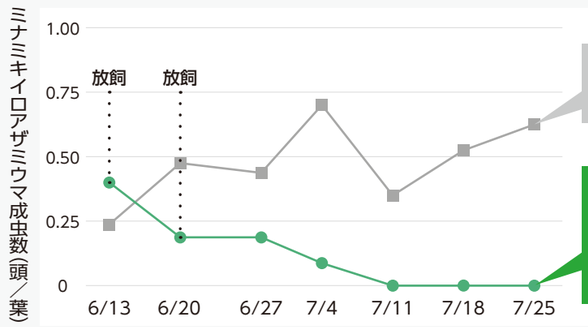


バコトップ放飼区　バコトップ無放飼区

作物：なす（品種：千両2号）
放飼月日：4月5日、4月12日、4月19日
バコトップ放飼数：2株あたり1頭

バコトップ放飼区では
タバココナジラミ成虫の個体数増加を抑制できた

●きゅうりでのミナミキイロアザミウマに対するバコトップの防除効果



無放飼区では・・・
アザミウマ成虫が増加

放飼区では
アザミウマ成虫の
増加を抑制！

バコトップ放飼区
バコトップ無放飼区

作物：きゅうり（品種：Vアーチ）
放飼月日：6月13日、6月20日
バコトップ放飼数：2株あたり1頭

バコトップについて

バコトップは、タバコカスミカメの幼虫と成虫をカップに封入した製剤です。
害虫の初期発生時に施設内に放飼すると、コナジラミ類、アザミウマ類の成虫や幼虫を探索し、大量に捕食します。

有効成分の種類：タバコカスミカメ幼虫および成虫
含有量：100頭／100mLカップ　300頭／300mLカップ
その他の成分：バーミキュライト（石綿不検出）、植物片、
冷凍殺虫済スジコナマダラメイガ卵

適用表　　農林水産省登録第24524号

	作物名	適用病害虫名	使用量
	きゅうり（施設栽培）	アザミウマ類	2株あたり1頭
NEW！	なす科果菜類（施設栽培）	コナジラミ類	

第7版 2026.07

株式会社 アグリ総研
〒 300-0506　茨城県稲敷市沼田2629-1
☎ 029-840-5977　URL：www.agrisect.com

国内生産

コナジラミ類、アザミウマ類の天敵製剤

バコトップ
Bako-Top

タバコカスミカメ剤

ついに！
なす科果菜類へ適用拡大!!

タバコカスミカメ

300頭入り　100頭入り

なす科果菜類（適用害虫：コナジラミ類）

ピーマン

パプリカ

なす

他にもこんな作物が含まれます

・トマト　・ミニトマト　・しょくようほおずき　・甘長とうがらし　・とうがらし　等

商品詳細

※出荷方法および仕様は予告なく変更する場合があります。

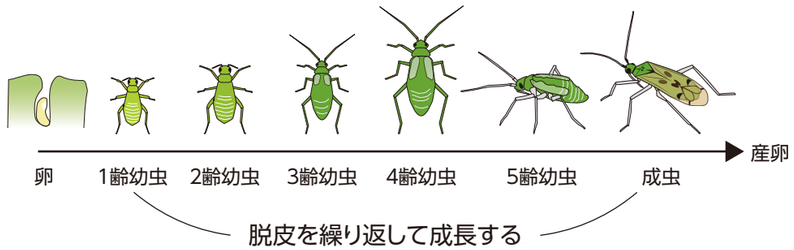
商品名：バコトップ（100頭入り）　商品規格：100頭/100mLカップ
バコトップ（300頭入り）　300頭/300mLカップ
種類名：タバコカスミカメ剤
学名：*Nesidiocoris tenuis*　（農林水産省登録第 24524号）

本商品は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
「次世代農林水産業創造技術」の研究成果を活用しています。

株式会社 アグリ総研
www.agrisect.com

天敵生物タバコカスミカメの生態

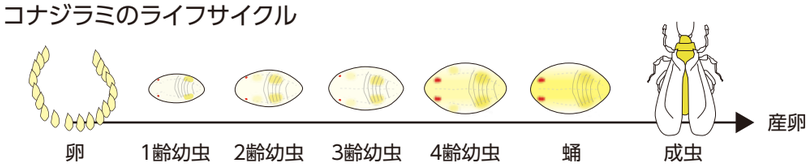
タバコカスミカメのライフサイクル

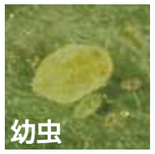


分布	世界中に広く分布
体長	成虫 約3.0~3.5mm
活動適温	25~30℃
発育期間(卵～成虫)	約23日(25℃環境下)
ライフサイクル	卵 → 幼虫(1～5齢) → 成虫
捕食対象	広食性で、コナジラミ類、アザミウマ類などを捕食する。 一方で、植物を吸汁することが知られている。
雌成虫の平均捕食数	タバココナジラミ4齢幼虫の場合、1日あたり約56頭捕食 ミナミキイロアザミウマ2齢幼虫の場合、1日あたり約165頭捕食

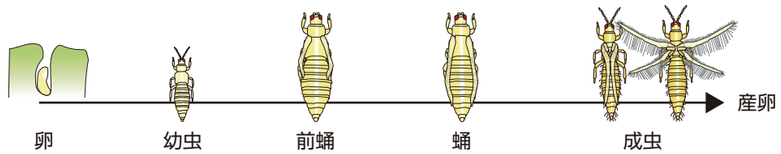
害虫の生態(コナジラミ類/アザミウマ類)

コナジラミのライフサイクル





アザミウマのライフサイクル



	コナジラミ類	アザミウマ類
体長	成虫 約3.0~3.5mm	成虫 約3.0~3.5mm
活動適温	25~30℃	25~30℃
発育期間(卵～成虫)	約23日(25℃環境下)	約23日(25℃環境下)
ライフサイクル	卵 → 幼虫(1～5齢) → 成虫	卵 → 幼虫(1～5齢) → 成虫
被害	成虫と幼虫は、植物から養分を吸汁し、余分な糖分を排出する。この排出された糖分を甘露と呼び、甘露にカビが生えて"すす病"になる。また、植物ウイルスを媒介する。	一般的に植物の葉や花に寄生し、吸汁する。被害は作物や加害部位によって様々だが、部分的な退色または褐変、かすり症状などが見られる。また、植物ウイルスを媒介する。

バコトップ導入前の注意点

本剤の使用に際しては技術資料等を熟読し、十分理解してからご使用ください。
特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

- タバコカスミカメの施設外への逸出を防ぐため、施設開口部には1mm目以下の防虫ネットをかならず設置してください。
- タバコカスミカメが作物上で高密度になり、かつ餌害虫を食べつくすと、植物体を吸汁することがあるため、十分注意して下さい。
- 本剤を使用した収穫後は施設を締め切り、内部の植物が枯死してタバコカスミカメが死亡したことを確認した後に残渣を排出してください。
- 作物の定植直後もしくは、コナジラミおよびアザミウマの発生が確認されたら放飼してください。
- ピーマンなどの「なす科とうがらし属」の作物で使用する場合は、各株で**開花**を確認した後に放飼してください。
- コナジラミ類、アザミウマ類が多発生している場合は、タバコカスミカメに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけ害虫の密度を下げてから放飼を行ってください。

Point! これまで使用した農薬がタバコカスミカメに影響しないか確認しましょう。

農薬影響表(弊社HP内)

バコトップの導入手順

動画でも
ご確認いただけます。

天敵が届いたら

輸送用箱から取り出した製剤容器を直射日光の当たらない場所に静置して、ゆっくり常温に戻します。

注意!
バコトップの放飼後はすべて放飼し、使い切ってください。

天敵放飼

1. 作物の近くでバコトップのフタを開封します。
   タバコカスミカメ成虫が飛翔し、作物に移動します。

2. 容器内の植物片をつまみ、作物に乗せていきます。植物片は容器内に複数封入されており、それぞれにタバコカスミカメが乗っています。

3. 放飼後の容器内にタバコカスミカメの幼虫が残っている場合は、作物上に放飼してください。

注意!
タバコカスミカメがよく定着するように、放飼から1週間は葉面散布剤や農薬の使用は避けてください。